Ｋ２プロジェクト　（Kaizen　Kaikaku　改善　改革）　２０２５

更なる組織の活性化を目指し、今年度も改善・改革プロジェクトがスタートします。
また、発足から４年が経過し、今年度からＫ２プロジェクト推進室が新設されました。
Ｋ２（改善・改革）の意識を根付かせながら、消防本部全体で業務の効率化や風通しの良い組織づくりを目指しましょう。

【目　的】
災害現場は指揮命令による活動であるが、業務の改善・改革は問題意識を持つ職員の視点によるボトムアップも有効である。若手職員、中堅職員を含めたすべての職員の「アイデア」や「気付き」を吸い上げ、消防本部全体で実行していくことにより、風通しの良い組織の実現を目指す。

【目指す効果】
・職員一人ひとりの意識改革と対話
・自分が提案した改善計画で組織が変化し、改善していく「喜び」や「達成感」によるモチベーションの向上
・活発な意見交換ができる組織の形成
・多角的視点からの改善による業務の効率化

【Ｋ２プロジェクト２０２５の変更点】
⑴　全職員を対象にプロジェクト内容の事前説明会を実施する。
アンケート結果から、「Ｋ２プロジェクトは知っているが内容がわからない」など、プロジェクト内容の認識の相違が見受けられたり、広報方法に課題があったため、Ｋ２プロジェクト推進室職員が各課・各署所へ出向し説明会を行う。
また、実行担当課の役割を明確に示すとともに、チームとかかわる際の留意点などを周知し、実行体制の強化を狙う。

⑵　Ｋ２プロジェクト推進室職員を各チームに配置
提案に向けて各チームが抱える悩みへの対応やプレゼンテーションの準備をサポートするため、チーム毎にＫ２プロジェクト推進室職員１名を配置し、長期に渡りチームをサポートする。

【Ｋ２プロジェクト構成】

⑴　提案カテゴリー

カテゴリー	対　象　者	役　割
警　防 救　急 予　防 通　信 消防全般	・管理職以外の全職員 （係単位、隊単位、有志のグループ単位での参加も可）	・自分たちの業務改善計画に最適な改善サポーターを人選する ・改善サポーターと協力しながら問題点の洗い出しや分析を行い、業務改善計画を作成する ・改善会議又は本部会議においてプレゼンテーションを行う ・「実行」と振分けされた計画を実行担当課と協力し実行に移す 「再検討」と振分けされた計画は再提案を行う ・成果発表会にて改善結果を発表する

⑵　改善サポーター

対　象　者	役　割
全職員（管理職、警防課の単独課長補佐、K2プロジェクト推進室を除く）からチームメンバーの人選を踏まえK2プロジェクト推進室が指名した職員（複数名でも可）	・チームメンバーの業務改善計画の作成をサポートする ・実行担当課との間で各種調整を図る

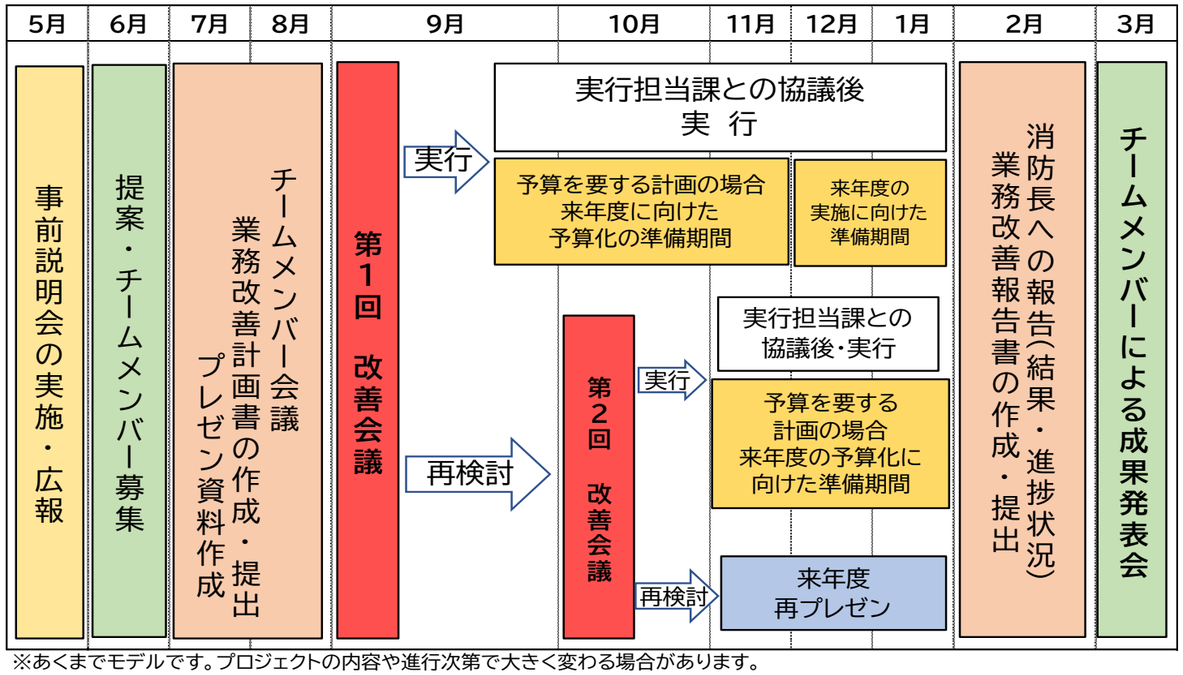
⑶　実行担当課

対　象　者	役　割
業務改善計画の業務を所管する課（署）で計画を実行に移す課（署）	・業務改善計画の作成時、チームメンバー、改善サポーターに対し情報提供等の協力を行う ・「実行」と振分けした計画をチームメンバーと協力し実行に移す

⑷　Ｋ２プロジェクト推進室

対　象　者	役　割
総務課職員	・改善サポーターの指名、各チームのサポート及びプロジェクトの運営等を行う

【フローチャート・年間スケジュール】



※あくまでモデルです。プロジェクトの内容や進行次第で大きく変わる場合があります。